

# 平成25年第14回県教育委員会会議 報告事項(1)

総務課

## 1 報告事項

平成25年第6回沖縄県議会(9月定例会)における質問・答弁概要報告

## 2 事項の説明

- 平成25年9月18日に開会した平成25年第6回沖縄県議会(9月定例会)における代表質問、一般質問において主に次のような質問等があった。

### 主な質問事項

- (1) 学力向上に係る課題と対策について：島袋大、新田宜明、玉城満、赤嶺昇、玉城義和、  
當間盛夫、新垣安弘、仲田弘毅、照屋守之
- (2) 授業以外の学力向上の取組について：前島明男
- (3) 到達度調査の評価と課題について：西銘純恵
- (4) 高知県の改善要因について：仲田弘毅
- (5) 学力向上の取組と目標設定について：照屋守之
- (6) 学校における学習支援ボランティアの実態等について：嶺井光
- (7) 伊平屋村の「東大塾」について：新垣安弘
- (8) 少人数学級の実施状況と次年度以降の施策について：新田宜明、玉城ノブ子、  
比嘉京子、嶺井光
- (8) 少人数授業の実態について：狩俣信子
- (9) 家庭教育の取り組みについて：島袋大、前島明男、仲田弘毅、嶺井光
- (10) 「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みについて：比嘉京子
- (11) ムラヤー(自治公民館)の活用について：嶺井光
- (12) 「家～なれ～」運動について：嶺井光
- (12) 中、高生売春事件後の県の対応と防止策について：浦崎唯昭、新田宜明、玉城満、  
前島明男
- (13) 性教育の取り組みについて：新垣清涼、山内末子
- (14) しまくとぅばの学校での取組について：新田宜明、前島明男、新垣清涼、玉城義和
- (15) 公立学校施設の空調整備について：玉城ノブ子、奥平一夫、狩俣信子、比嘉京子
- (16) 老朽校舎の改築及び耐震化について：新田宜明、大城一馬
- (17) 屋外教育環境施設の整備事業について：仲田弘毅
- (18) 新県立図書館整備計画のスケジュール等について：島袋大、新垣安弘、翁長政俊
- (19) 新県立図書館建設の指定管理の導入について：新垣安弘
- (20) 県立高等学校における不登校の原因及び対応について：島袋大、瑞慶覧功、赤嶺昇
- (21) 石垣市教育長の発言(平和教育)について：山内末子、赤嶺昇
- (22) 琉球・沖縄史の学校での取り組みについて：大城一馬、新垣清涼

- (23) 平和教育について：比嘉京子
- (24) 家庭訪問の見直しについて：島袋大、瑞慶覧功
- (25) 離島地域における教育負担の軽減等に関する認識について：新田宜明、奥平一夫
- (26) 離島の高校生就学支援事業の実績と課題について：西銘純恵、上原章
- (27) 離島児童・生徒支援センター（仮称）の内容について：島袋大、上原章
- (28) 離島児童生徒の交通費支援について：高嶺善伸、座喜味一幸
- (29) 多良間村における教職員の人事異動について：奥平一夫
- (30) 多良間村へのALT派遣について：奥平一夫
- (31) 教員の正規・非正規率について：玉城ノブ子、比嘉京子
- (32) 非正規幼稚園教諭の現状等について：狩俣信子
- (33) 公立幼稚園の実態について：新田宜明
- (34) 教職員の多忙化解消に向けての課題と施策について：新田宜明、比嘉京子
- (35) 県立学校教職員の人事異動実施要領の改正について：新里米吉
- (36) 土曜授業と週5日制について：狩俣信子、照屋大河
- (37) 県内高等学校修学旅行の実施状況及び、未実施校の理由について：新垣安弘
- (38) 修学旅行の全校実施について：新垣安弘
- (39) キャリア教育の展開という点で修学旅行を実施できないか：新垣安弘
- (40) 与論島への修学旅行について：玉城義和
- (41) 体罰件数の認識について：島袋大
- (42) いじめの件数等について：西銘純恵
- (43) 学校のおじめにかかる認識や対応等について：西銘純恵
- (44) いじめ、体罰の実態と対策について：新田宜明
- (45) 郷土の偉人を顕彰する施設及び、県立の先人記念館設立について：新垣安弘
- (46) 尚巴志像の建立について：嶺井光
- (47) ジョン万次郎に対する理解及び、記念碑の教育的効果について：新垣哲司
- (48) ネット依存の状況、予防及び治療体制について：島袋大
- (49) 小中高校の英語教育の取り組みについて：前島明男
- (50) 沖縄高等特別支援学校卒業後の社会自立について：前島明男
- (51) 補聴器助成の実施状況について：前島明男
- (52) 潮平権現の壕について：玉城ノブ子
- (53) 国連子どもの権利委員会の勧告について：西銘純恵
- (54) 高校入試の10年前との比較分析について：西銘純恵
- (55) 高校中退率及び理解度に応じた教育等について：西銘純恵
- (56) 男女混合名簿について：西銘純恵
- (57) 沖縄学生会館の処理方針等について：新里米吉
- (58) 学校統廃合について：奥平一夫
- (59) 高等学校授業料無償化に所得制限を設けることについて：狩俣信子
- (60) 生活保護世帯と一般世帯の高校進学率について：狩俣信子
- (61) 2学期制の課題について：赤嶺昇
- (62) 高卒者の進路状況について：赤嶺昇
- (63) 八重山教科書の是正要求への対応について：赤嶺昇

- (64) 嘉手納小学校への米軍車両侵入事件について：照屋大河
- (65) 教育に係る予算要求について：當間盛夫
- (66) 受験を想定した中高一貫体制について：新垣安弘
- (67) 県教育委員会所管物品等の県産品使用割合について：新垣安弘
- (68) 御茶屋御殿について：糸洲朝則
- (69) 沖縄から南米への留学研修制度について：糸洲朝則

このうち、「学力向上に係る課題と対策について」「家庭教育の取り組みについて」「八重山教科書の是正要求への対応について」の答弁要旨は、次のとおりです。

- (1) 学力向上に係る課題と対策について：島袋大、新田宜明、玉城満、赤嶺昇、玉城義和、  
當間盛夫、新垣安弘、仲田弘毅、照屋守之

質問要旨： 2013年度全国学力テストで本県は、全国最下位となったが、今回の結果とこれまでの結果との違い、今後の改善の見通しについて、教育長の見解を聞きたい。

答弁要旨： 平成24年度と比較して本年度は、多くの教科で全国平均との差が縮まっております。特に、小学校の国語A及び算数Bは最下位を脱しております。

中学校の国語は、全国平均との差が着実に縮まっておりますが、数学は、全国平均との差が大きく、依然として課題となっております。

全国学力調査の検証から、本県は、「基礎学力の定着や思考力を高める授業づくり」「授業時数の確保」「授業と連動した宿題」などの徹底が図られていないことや、基本的な生活習慣の確立が不十分であることが課題であると捉えております。

県教育委員会としましては、去る9月13日に全公立小中学校長連絡協議会を開催し、各学校が危機感を持ち、全校体制で「わかる授業」や「基本的な生活習慣の確立」などの課題解決に向けた取組の徹底について改善策を共有したところであります。

今後は、指導力の向上に係る研修の充実、少人数学級・少人数指導の充実、県学力到達度調査の拡大、保護者の意識を高める家庭教育の取組を徹底し、児童生徒の「確かな学力」の向上に向けて、更なる改善を図ってまいります。

- (2) 家庭教育の取り組みについて：島袋大、前島明男、仲田弘毅、嶺井光

質問要旨： 県教育委員会として、家庭教育をどのように考えているか。また、家庭教育にどのように取り組んでいるか、聞きたい。

答弁要旨： 家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子供の基本的な生活習慣や豊かな情操、善悪の判断などの基本的倫理観、自立心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割を担うものであります。

しかしながら、本県の幼児児童生徒の健全な教育の遂行において、その原点と

しての家庭教育に課題があることは、機会あるごとに指摘されてきたとおりであります。

県教育委員会としましては、これまで、家庭教育の課題解決に向けて取り組んでまいりましたが、今後も保護者等関係機関と緊密に連携し、積極的に展開する必要性を感じております。

(3) 八重山教科書の是正要求への対応について：赤嶺昇

質問要旨： 教科書採択問題で文部科学省が近く竹富町教育委員会に対して地方自治法に基づく是正要求をする方針を固めたそうですが、このことに関して県の対応を聞きたい。

答弁要旨： 文部科学省が地方自治法に基づく是正要求を検討していることについては、新聞報道で確認しておりますが、正式な情報は得られておらず、現段階で、コメントできる状況ではありません。県教育委員会の対応方針については、正式な要求がない段階で発言できる状況にございませんが、仮に是正要求があった場合は、県教育委員会で対応を検討することとなると考えております。それ以上のことについて、現段階で言及できる状況ではございません。

○ 文教厚生委員会については、台風24号接近のため教育委員会所管の陳情について審議が行われず、すべて継続審査とされた。

(1) 陳情審査

・新規陳情（4件）

陳情 第111号	学校を地域防災の拠点に整備することを求める陳情	(継続審査)
陳情 第116号	沖縄学生会館の再建を求める陳情	(継続審査)
陳情 第118号の2	沖縄県婦人連合会に対する活動への支援について	(継続審査)
陳情 第121号	海洋技術科存続及び小型実習船「かりゆし」の代船建造について	(継続審査)

・継続陳情（9件）

陳情平成24年第74号	沖縄県立図書館八重山分館の廃止決定に関する陳情	(継続審査)
陳情平成24年第104号	「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化に関する陳情	(継続審査)
陳情平成24年第156号	八重山地区教科書問題の解決に関する陳情	(継続審査)
陳情平成24年第174号	航空運賃団体割引制度の改善による離島児童生徒の経済的負担軽減を求める陳情	(継続審査)
陳情平成24年第194号	スクールソーシャルワーカー活用事業に関する陳情	(継続審査)
陳情 第6号の2	第64回九州地区地域婦人大会決議に基づく陳情書	(継続審査)
陳情 第28号の2	しまくとぅばの継承・復興事業に関する陳情	(継続審査)
陳情 第50号の3	平成25年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情	(継続審査)
陳情 第55号	「30人以下学級」早期完全実現に関する陳情	(継続審査)

○ 総務企画委員会において、以下の議案に対する審査が行われた。

(1) 議案審査(教育委員会関係)

甲第1号議案 平成25年度沖縄県一般会計補正予算(第1号) (原案可決)

○合計5事業、74,910千円の補正予算が審査された

主な内容

・学校保健事業費

学校管理下で災害にあった児童生徒に対する災害給付金に要する経費 37,700千円

・高等学校理科教育等設備整備事業費(補助費)

県立高等学校における理科教育のための設備整備に要する経費 26,003千円

※各委員会で審議された教育委員会関係議案等の本会議における処理状況

(平成25年10月11日閉会)

甲第1号議案は、原案のとおり可決された。

関係陳情は、各委員会委員長の報告のとおり決定された。

○ 9月議会閉会中(10月17日)に文教厚生委員会において、教育委員会所管の平成24年度歳入歳出決算に対する審査が行われた。

「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」、「複式学級教育環境改善事業」等の主要施策に関する質疑や、学力向上、八重山教科書等の質疑があった。